

まちの話題



10月15日(土) 秋の味覚で被災地支援

鬼みちまつりの会場で漂う焼き魚の香ばしい香り。秋の味覚の代表格・さんまを食べて被災地を支援する「岩手県大船渡さんまつり」がまつりの中で催されました。

高浜市観光協会とまつりの実行委員が、大船渡市で水揚げされたさんまを炭火で焼き、1匹につき200円以上の義援金を募ったところ、用意した500匹が完売。当日の収益金と募金箱の義援金の合計63,211円を、日本赤十字社を通して送金しました。

10月21日(木) 稗田川と遊ぶ1日

高取小学校の裏を流れる稗田川。地域の川に愛着を持ち、自然の魅力を味わうため、ひえ田川の日として高取小学校の児童が中心となりイベントを行いました。

稗田川についての学年ごとの発表や、川沿いで芝生すべりや工作などを楽しみながら歩くウォークラリーなど、清々しい秋空のもと稗田川の自然を全身に感じて楽しんでいました。



10月23日(日) 災害に地域で備える

いざという時、自分や家族を守る術を知ってほしい、と田戸町内会が独自に防災訓練を行いました。大地震とそれにもなう津波が来ることを想定した訓練で、安否確認のための軒先へのタオルかけやけが人の搬送、高台への避難経路の確認など、町内に住む市民110人が参加し、地域に即した防災対策を学んでいました。

タカハマ物語 制作現場から

市民による市民のためのドラマ「タカハマ物語(仮称)」に関する情報をお知らせします。

10月15日(土) 鬼あかりのように期待を灯し ついにクランクイン

監修を務める堤幸彦氏がメガホンを取り、主人公が路地裏を走り抜けるシーンや、仲間とともに鬼パークを歩くシーンなど、同日開催された鬼みちまつりに合わせて、鬼みちならではの撮影が行われました。



10月23日(日) 市民のドラマは小道具だって手づくりです

ドラマの中で使用される予定の「鬼瓦の太鼓」。どうやって用意するの?と疑問に思われる方もいるかもしれませんが、ここは瓦の産地、高浜市。もちろん太鼓も市民スタッフの皆さんの手によって作られます。

この日はかわら美術館での撮影のかたわら、ボランティアさんや市内中学校美術部の皆さんが太鼓の制作に取り組みました。後日、だるま窯(市指定文化財)や市内の製瓦所で焼成されます。